



凌雲台

龍野小学校 学校便り

<No.12> H31.3.22
文責：校長 江上 知男



卒業式がありました！

3月20日(水)に卒業式が実施されました。幸いにも天候に恵まれ、厳粛な雰囲気の中に29人の子どもたちが晴れやかに龍野小学校を巣立ちました。

卒業生は、この1年、最上級生としてリーダーの役割を常に果たしてくれました。「進取」「仲間」「感謝」という学級目標のもと、常に「何をすべきか」を考え、責任感と相手意識を持って頑張りました。特に印象に残っていることがいくつかあります。

まずは、運動会です。「今こそ絆を深め、心をついに、最高の運動会」というスローガンのもと、6年生が中心となって創り上げました。演技を終えた後の堂々として自信に満ちた表情、閉会式後の感動の涙は忘れられません。次に、学習発表会です。6年生は、平和学習で学んだことを「平和の誓い」としてまとめ、まず自分たちが平和を守る努力をするという宣言をしました。その真剣な眼差しは、心を揺さぶられました。そして、3学期に取り組んだ「卒業プロジェクト」です。「お別れ会」「先生方への感謝」「交流給食」「地域の方への感謝会」「卒業文集」「卒業謝恩会」という6つの主体的なプロジェクトをとおして、子どもたちは成長し、龍野小学校に足跡を残しました。そこには「感謝」という心が見えました。

「6年生になったらこうなりたい」というよい見本を在校生に示してくれた卒業生は、まさに「あこがれの存在」であり、龍野小学校の新たな伝統を創ってくれました。本当にありがとうございました。

卒業式に列席いただきました、来賓、保護者、関係者の皆様に心から感謝いたします。



正門前の木の伐採が終わりました。龍野小学校の校舎に朝日が当たるようになりました。長年の懸案事項が解決しました。

作業していただいたワタナベ機械関係者、甲佐農芸の田上さん、野乃屋の中馬さん、実現に導いていただいた白石区長さん、木村学校運営協議会長さん、ご協力いただいたPTA役員、地域の皆さまに心から感謝申し上げます。



3月18日に、地域ボランティアの集いを開催しました。30人を超える地域の方に参加していただき、6年生との交流を行いました。

ミン、調理や校区をテーマにした学習でお世話になった6年生は、感謝の気持ちを込めてクイズや歌などを贈っていました。地域の方々からたくさん感謝の言葉をいただきました。このような関係を、次年度へもしっかり引き継いでいきます。

「光陰矢の如し」という言葉がありますが、月日が流れるのは本当に早いもので、平成30年度も残り10日となってしまいました。この1年学校の運営に懸命に取り組んできましたが、保護者や地域の皆さまの期待に十分応えることができなかったのではないかと、大変申し訳なく思っております。

以前にもお知らせしましたが、私は龍野小学校に2回目の赴任です。前回関わらせていただいた子どもたち(もう20代以上ですが…)や保護者の方々が地域におられ、この1年間に多くの方々と再会することができました。事あるごとに地域の様子を教えてください、自家製野菜などのおみやげを持って来てくださったりしました。時には「悩み相談」だったり、「子どもが産まれた」「結婚した」という嬉しい報告を受けたこともありました。その度に、「教師は卒業させて終わりではなく、関わった子どもの人生に深く関わり続けていくものだ」ということを教えられます。卒業した方が、「龍野小学校を心のよりどころ」としていただけるよう、これからも「地域とともにある学校」を目指して職員一同「チーム龍野小」として頑張ります。この1年間、稚拙な文章にお付き合いいただき、ありがとうございました。